

ドイツ語程度副詞の共起語の頻度に関する調査（1）

井 口 靖

要旨：程度が高いことを表す程度副詞がどのような形容詞や副詞を修飾しうるかをドイツ語研究所 IDS のコーパスを用いて分析し、語彙出現予測の解明の糸口としたい。とりあげる程度副詞は außergewöhnlich, außerordentlich, besonders, denkbar, höchst, recht, sehr, so, überaus, ungemein, ungewöhnlich, ungleich, weit である。調査の結果、程度副詞によって修飾する形容詞や副詞が異なり、かつ、必ずしも頻度の高い形容詞や副詞を修飾するとは限らないことが判明し、程度副詞とその共起語の間には何らかの関係があると考えられ、この研究を進めることは語彙出現予測の解明に寄与するものと考えられる。

0. はじめに

ドイツ人は暑さに弱いのか、unerträglich heißという表現をよく耳にする。これに対して、unerträglich kalt というのがあってもよさそうなものなのにあまり聞かない。実際に IDS コーパス¹⁾で調べてみると、11028 例中 heiß (heiße, heissen, heißen を含む) と結びつくものが 209 例あったのに対し、kalt と結びつくものはわずか 6 例であった。ちなみに warm と結びつくものは 17 例、schwül (schwüle, schwülen を含む) と結びつくものは 20 例あったが、kühl との結びつきはなかった。

これはどう考えたらよいのだろうか。ひとつには unerträglich heißが単なる形式的な組み合わせとして記憶されているということが考えられる。ただし、この組み合わせを形容詞+名詞にした unerträgliche Hitze が 107 例あるのに対し、unerträgliche Kälte は 2 例しかないところを見ると意味的な要因がからんでくる可能性も排除できない。

現在、文部科学省科学研究費補助金の「ドイツ語テキスト及び文における語彙出現予測分析とその和独辞典・教材への応用」（代表者：井口靖）というテーマで、人間はどのような予測に基づいて言語を聞いたり読んだりしているかに関して研究を進めているが、その際形式上のコロケーションが問題になるのか、それとも意味的な関係の問題なのかがひとつの大きな課題となっている。ここではそれを解明する手がかりとして、形容詞や副詞を「強調する」とされている副詞をとりあげ、その副詞によって次に来る形容詞や副詞が予測可能であるかどうかを検討することにする。

調査方法としてはコーパスを用いた数量的な調査になるが、現在のコーパスは膨大なものになっているために一度にすべてを検討することは困難である。ここでは、形容詞や副詞の原級を強調する副詞（程度副詞）に限って調査し、調査結果に若干の検討を加えることに留める。

1. 英語における「増幅詞」のコロケーション調査

これまで副詞がどのような形容詞と結びつくかについては、原級と結びつくとか比較級と結

びつくななどの指摘はあるものの、具体的組み合わせはあまり検討されることはなかった。Granger (2009) は、英語の非母語話者（フランス人の上級英語学習者）と母語者のコーパスを比較し、「増幅詞」（ここここで扱う程度副詞にあたる）の使用状況を調査している。それによると、非母語話者コーパスにおける増幅詞は、異なり語数においても延べ語数においても「過小使用されて」おり、顕著な統計的有意差が確認されたとのことである。たとえば、学習者は completely と totally を過剰に使用し、highly の使用が少ないという。ただ、実際には、学習者が産出した語結合の中に、母語話者が容認不可と感じたものはなく、不自然と感じたものすら皆無だった、とのことであるから、文法的な問題ではないことがわかる。

Granger (2009: 193) はまとめとして「母語話者に比べ、学習者による既成表現の使用は少ない。（中略）学習者が使用するコロケーションの大部分は母語に語彙的に一致した表現が存在するものである。（中略）学習者は既成のユニットの一部ではなく、むしろ、ばらばらの建築用ブロックとして増幅詞を使用しているようである。」と述べている。つまり、母語者は増幅詞+被修飾語を「既成のユニット」ととらえ、非母語者は自分でそれを組み立てているということである。特に学習者は very を過剰に使用することが指摘されており、おそらくドイツ語でも sehr は母語者以上に学習者によって使用されている可能性が高い。

このように英語では増幅詞とその被修飾語との間には何らかの関係があることは明らかである。今回はドイツ語に関してコーパスを用いて母語者の実態を調査することになる。

2. ドイツ語の程度副詞

井口 (2000) はドイツ語の副詞の機能を「命題内機能」と「命題外機能」に分け、命題内機能を持つ副詞として、程度副詞、空間副詞・時間副詞・様態副詞・因果副詞、接続副詞、疑問副詞をあげている。このうち程度副詞は次のように分類されている。（井口 (2000: 12 ff.)）

- 程度が高いことを表すもの

außergewöhnlich, außerordentlich, bedeutend, besonders, beträchtlich, denkbar, höchst, noch, recht, sehr, so, überaus, ungemein, ungewöhnlich, ungleich, viel, weit, weitaus, wesentlich, zu; bei weitem, nur noch...

- 程度が低いことを表すもの

einigermaßen, etwas, ganz, unwesentlich, wenig, ziemlich; ein bißchen, ein wenig, ...

- その状態に完全に達していることを表すもの

absolut, direkt, durchaus, ganz, restlos, total, völlig, vollkommen, vollständig; ganz und gar, ...

- その状態に完全に達してはいないことを表すもの

beinahe, fast, nahezu...

ここではこのうち「程度が高いことを表すもの」（2語のものを除く）をとりあげて調査することにする。noch と zu については程度副詞以外の用法が多いため今回の調査からは除外した。以下では程度副詞のうちこの「程度が高いことを表すもの」を単に程度副詞と呼ぶことにする。

3. 調査方法

調査はドイツ語研究所 (Institut für Deutsche Sprache) の 40 億語以上を収録するとされる Das Deutsche Referenzkorpus (DEREKO) を用いるが、実際にはそのうちの Archiv der geschriebenen Korpora を調査することにする。収録語は 2010 年 10 月現在で 36 億語あまりとされている。

コロケーションの統計的な調査ではさまざまな指標が用いられ²⁾、IDS のコーパスでも LLR (log-likelihood ratio) がデフォルトで表示されるが、ここでは程度詞からの「予測」という観点から、単純にある程度副詞の直後にどのような語が来る可能性が高いかを調査することにする。ふつうコロケーションの研究では修飾語などがはいることを想定して、前後 5 語以内の語を調査することが多いが、程度副詞はほとんどの場合、その被修飾語の直前に置かれると見てよいので、その意味でこの方法はかなり信頼性が高いと言える。

ただし、程度副詞の被修飾語である形容詞はさまざまに変化している可能性がある。IDS の検索プログラム CosmasII (ここでは Windows 版の Client ソフトを用いた) ではレマ化 (Lemmatisierung) して出力することが可能である。これを一度試みたが、かなり不正確なレマ化が行われることが判明した。たとえば、erfolgreich がこの形以外に Erfolg, wichtig が Wicht として出力されることがあり、また、un-や viel-で始まる形容詞が一括して出力されるのも問題である。さらには、程度副詞によってはもっぱら比較級を修飾するものもあるが、それが自動的に原級にもどされてしまうのも不都合である。よって、レマ化せずに出力し、手作業でひとつひとつの形を検討してまとめることにした。それでも、größer, härter などはよいが、erfolgreicher は単なる格変化形か、比較級かの区別はつかない。よって、曖昧な -er 形はもっぱら比較級と結びつく程度副詞の場合には比較級と見なし、そうではない場合には格変化形として原級と見なすことにした。

ここでは被修飾語として形容詞と副詞を想定したが、程度副詞は動詞を修飾することがある。ただし、動詞の直前に出現しない場合も多いと想定される (たとえば Danke sehr. など) ため正確な数値とはならない。よって、動詞については現在分詞は対象とし、過去分詞は形容詞的に用いられている可能性がある場合のみ対象に入れることにした。たとえば、entfernt, gelungen, verbreitet などである。以下では、程度副詞の直後に現れる被修飾語を「共起語」と呼ぶことにする。

実際に出力してみると、共起語が statistisch unspezifisch とされるものもかなりあるが、リスト化される語も程度副詞によって数百から数千通りの語形に及ぶ。そこで、手作業でレマ化した共起語の出現数をその程度副詞の出現数で割って 100 倍したものを「予測可能性」とし、その数値が 1 以上の共起語 (つまり 1% 以上予測できるもの) をピックアップした。ある程度副詞で数値が 1 以下であっても他の程度副詞で 1 以上の数値を示した場合には比較のために数値をあげる。

たとえば、außergewöhnlich はこの Archiv で 11056 回出現するとされる。このうち、außergewöhnlich gut の組み合わせは 1145 回ある。予測可能性は $1145 \div 11056 \times 100 = 10.35637$ となる。つまり、außergewöhnlich の次に gut が予測できる可能性は 10% 強ということになる。その他に 1% 以上の予測を示すものとして hoch (8.8), groß (3.3), stark (2.9), viel (2.8), lang (1.8), schön (1.3), erfolgreich (1.1) がある。schnell は 0.5 であるのでここでは本来対

象外であるが、recht, sehr などでは schnell は 1 以上の予測可能性を示すのでそれらとの比較のために außergewöhnlich での予測可能性も表示する。これにより共起語としてリストアップされたのは次の語である。

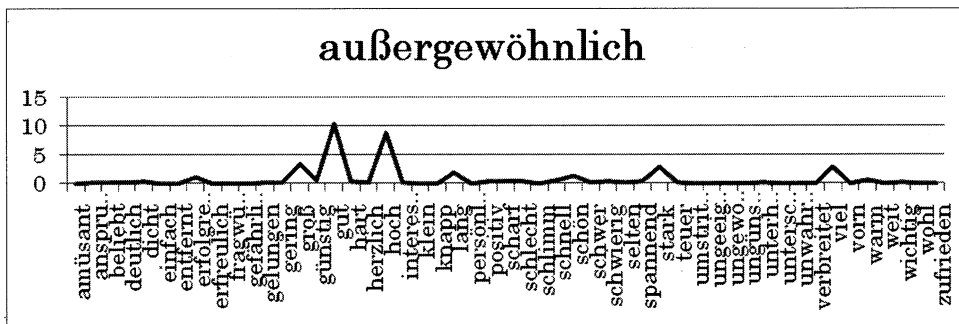
amüsant, anspruchsvoll, beliebt, deutlich, dicht, einfach, entfernt, erfolgreich, erfreulich, fragwürdig, gefährlich, gelungen, gering, groß, günstig, gut, hart, herzlich, hoch, interessant, klein, knapp, lang, persönlich, positiv, scharf, schlecht, schlimm, schnell, schön, schwer, schwierig, selten, spannend, stark, teuer, umstritten, ungeeignet, ungewöhnlich, ungünstig, unterhaltsam, unterschiedlich, unwahrscheinlich, verbreitet, viel, vorn, warm, weit, wichtig, wohl, zufrieden

4. 調査結果

以上のような方法に基づいて各程度副詞の共起語を調査したところ、bedeutend, beträchtlich, ungleich, weit, weitaus, wesentlich については基本的に比較級と結びつくことがわかった。一部は辞典や文法書にそのように記述されてきたが、統計的にそれが確かめられたことになる。形容詞の比較級というのは文法的というよりは意味的な変容である。それを修飾するということはそれなりの意味的關係があるものと予想される。時間と紙面の関係で今回はそこまで考察することはできなかったの、ここでは比較級と結びつく例は除外して考える。ungleich と weit は比較級以外とも結びつく例があるので最後にとりあげる。

以下では、それぞれの程度副詞の傾向を比較するために折れ線グラフで表示した。共起語はアルファベット順であり、変化を表すわけでもないの、本来なら棒グラフで示すべきであろうが、共起語の数も多く、折れ線グラフの方が直感的にとらえやすいのであえてそのようにし、1%以上の予測可能性の具体的な共起語は説明の中で示した。なお、コーパスからいくつかの例をあげる。括弧内は出典を示す。正書法は原文どおりとする。

4. 1. außergewöhnlich（出現数 11056）

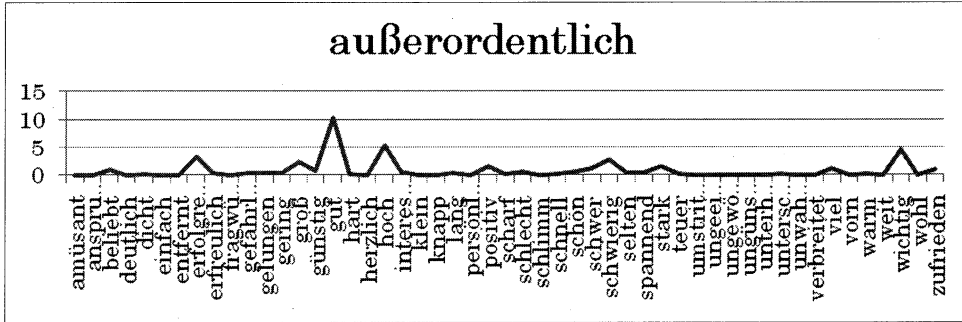


上でも述べたように 1 以上の数値を示すのは gut, hoch, groß, stark, viel, lang, schön, erfolgreich である。erfolgreich はやや特徴的であるが、その他の共起語自体がそもそも頻度の高い語であるので、それほど特別な傾向を示しているとは言えない。しかし、あとで見るようにすべての程度副詞において gut が上位に来るわけではなく、gut とまったく結びつかない語さえある。その意味で außergewöhnlich は「一般的」と言える。

Doch *außergewöhnlich gut* harmonierten die beiden Instrumente. (RHZ 03/MAR.19904 RZ, 27.03.2003)

Angela Merkel ist eine *außergewöhnlich erfolgreiche* Bundeskanzlerin. (BRZ 07/APR. 07009 Braunsch. Z., 19.04.2007)

4. 2. **außerordentlich** (出現数 16669)



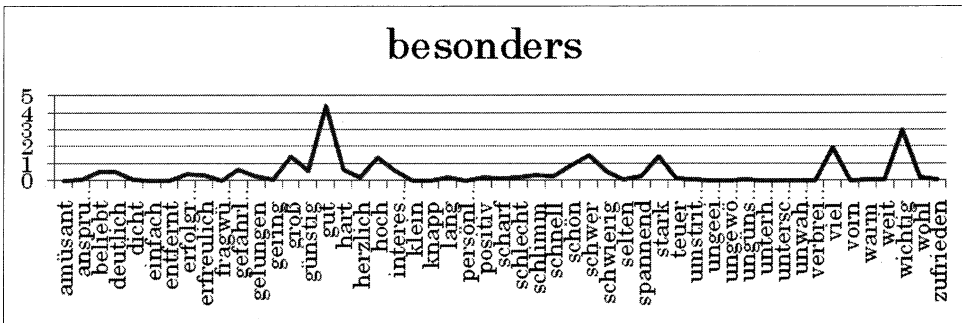
ここで1以上の値をとるのは、gut, hoch, wichtig, erfolgreich, schwierig, groß positiv, stark, schwer, viel である。außergewöhnlich と似たようなところもあるが、erfolgreich は 3.3 とかなり高い数値となっている。また、wichtig も 4.4 と高く、特徴的である。

Ja, wir verstehen uns *außerordentlich gut*. (NUZ 10/APR.00093 NZ, 01.04.2010, S.24)

Die Museen im Land Salzburg haben in vielerlei Hinsicht eine *außerordentlich wichtige* Bedeutung: (N 00/MAI.23137 Salzburger Nachr., 20.05.2000)

Das Jahr 2001 war sportlich *außerordentlich erfolgreich*. (M 02/JAN.03076 Mannh. Morgen, 14.01.2002)

4. 3. **besonders** (出現数 562899)

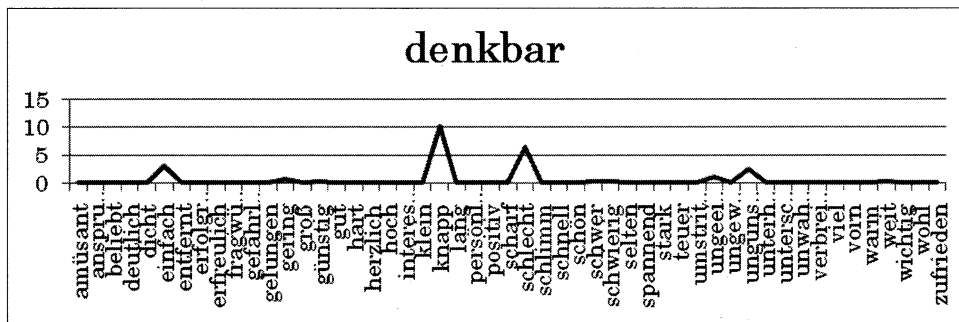


上位にあるのは、gut, wichtig, viel, schwer, stark, groß, hoch でまさに一般的な語を修飾する程度副詞であることがわかる。ただ、最初の2つとは異なり、erfolgreich は 0.4 と低いので、上記2つの程度副詞において erfolgreich との結びつきが特徴的であることが確認できる。

Klar, dass jetzt der Kuchen *besonders gut* schmeckte. (RHZ 02/AUG.19851 RZ, 27.08.2002)

Da sei Aufklärung an der Schule *besonders wichtig*. (M 08/DEZ.93573 Mannh. Morgen, 02.12.2008, S.21)

4. 4. denkbar (出現数 48570)



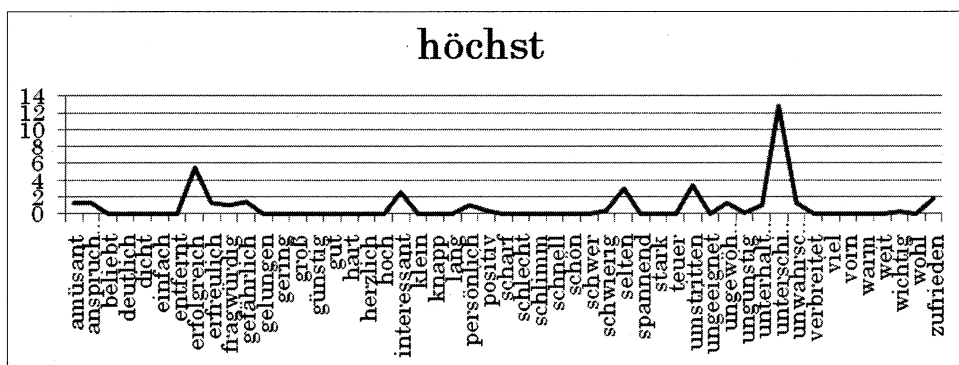
denkbar はかなり性格の強い程度副詞である。1 以上の可能性を示すのは knapp, schlecht, einfach, ungünstig, ungeeignet である。gut, großなどの可能性は 0.1 以下できわめて低く、hoch に至っては例がない。さらに、denkbar は最上級と結びつくこともあり、1 未満 0.2 以上の予測可能性で schlechtest, ungünstigst, best, knappst, größt などと結びつく。

確かなことは言えないが、gut よりも schlecht, günstig よりも ungünstig と結びつきやすいということから、ネガティブな意味合いを持つ共起語を予測させるように見える。knapp が 10 %以上の予測可能性を示しているのもこれと関係があると思われる。

Die Vorbereitungszeit war diesmal *denkbar knapp*. (M 06/APR.29348 Mannh. Morgen, 15.04.2006)

Die Perspektiven sind *denkbar schlecht*. (RHZ 08/JUN.07951 RZ, 09.06.2008)

4. 5. höchst (出現数 57679)



これもかなり特徴がある。1 以上の予測可能性を持つものは、unterschiedlich, erfolgreich, umstritten, selten, interessant, zufrieden, gefährlich, ungewöhnlich, erfreulich, unwahrscheinlich, anspruchsvoll, amüsant, fragwürdig, persönlich, unterhaltsam である。この中でも unterschiedlich が 12.8 と飛びぬけて高い数値を出している。ここにあげたものだけで 40% 近くを占めるので予測はしやすいと言えるのかもしれないが、ただこれら共起語間の意味的共通性をとりだすのは簡単ではな

い。あえて言うならば長い語と結びついている感じがする。なお、groß, gut, hoch と結びつく例はリストにはない。

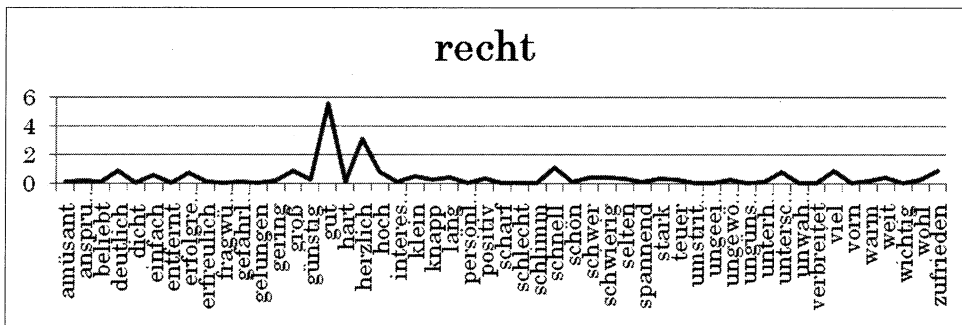
Die Reaktionen ihrer drei Töchter sind *höchst unterschiedlich*. Ein heftiger Familienstreit entflammt. (A 01/AUG.24351 St. Galler Tagblatt, 31.08.2001)

Der Verein arbeitete *höchst erfolgreich*. (RHZ 05/JUL.32887 RZ, 28.07.2005)

Allerdings ist *höchst umstritten*, ob dieses Modell langfristig stabil ist. (SOZ 10/APR.03410 Südostschweiz, 20.04.2010)

Zwillingsgeburten bei Elefanten sind *höchst selten*. (HMP 10/MAR.00682 MOPO, 08.03.2010, S. 53)

4. 6. recht (出現数 288940)



1 以上の予測可能性を示すのは gut, herzlich, schnell だけである。herzlich が 3.1 という他にはない高さを示しているが、確かに recht herzlich willkommen というのは初学者でも知っている結びつきであろう。それ以外はこれと言って特徴はなく、次に来る共起語がきわめて予測しにくい状態となっている。

Wir spielen *recht gut*, sind gleichwertig oder gar die bessere Mannschaft und verlieren Spiel um Spiel aufgrund von persönlichen Fehlern. (RHZ 98/MAR.02775 RZ, 02.03.1998)

Wir laden zu diesen beiden Veranstaltungen *recht herzlich* ein und freuen uns auf euer Kommen. (M 02/OKT.80712 Mannh. Morgen, 29.10.2002)

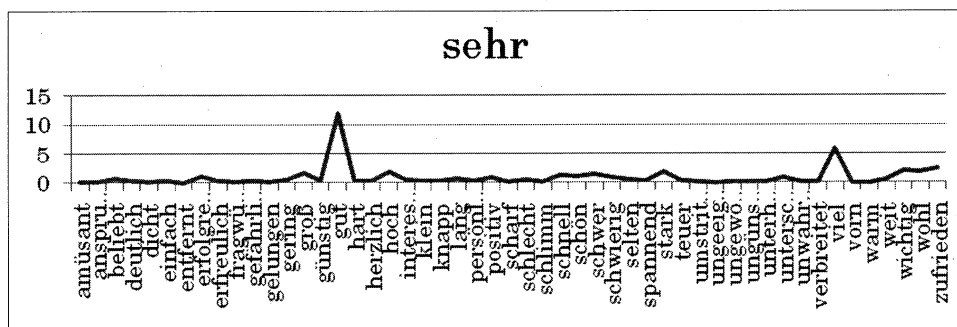
Die anderen sind denn auch *recht schnell* in der Kabine verschwunden. (RHZ 02/JAN.18665 RZ, 28.01.2002)

4. 7. sehr (出現数 1726037; 分析数 1000000³⁾)

代表的な程度副詞であるが、まさにそれ自体頻度の高い共起語が上位に来ている。gut がトップで 12% の予測可能性はかなり高い。viel, zufrieden, wichtig, wohl, stark, hoch, groß, schwer, schnell, erfolgreich がこれに続く。

Das Herrenteam hat heute *sehr gut* gespielt, sie haben gekämpft. (A 10/JAN.05955 St. Galler Tagbl., 25.01.2010, S.37)

Kurse sind teuer und brauchen *sehr viel* Zeit. (A 10/FEB.01270 St. Galler Tagbl., 04.02.2010, S.40)

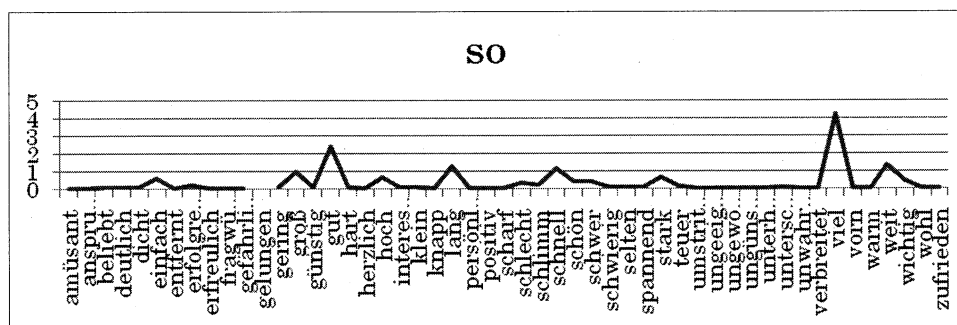


Ich bin *sehr* zufrieden mit dem Training. (A 10/JAN.02375 St. Galler Tagbl., 13.01.2010, S. 17)

Es sei *sehr* wichtig, dass die Kinder kleine Aufgaben übernehmen und so Sozialkompetenz erwerben würden. (A 10/FEB.05009 St. Galler Tagbl., 17.02.2010, S.38)

Wir fühlen uns *sehr* wohl im Team. (A 10/MAR.01252 St. Galler Tagbl., 04.03.2010, S.4)

4. 8. so (出現数 5269202 ; 分析数 1000000)



これもかなり一般的な程度副詞と言えるだろう。viel の 4.2 を筆頭に gut, weit, lang, schnell が続き、1 以下にも richtig, groß, stark, sehr, hoch, einfach, oft, wichtig, recht, schön などが続く。単に共起語の程度が高いことを示すだけではなく、so ... wie の用法も含まれるため「一般的意味」の共起語が多いものと思われる。なお、実は第 2 位には genannt (2.7) が来るのだが、動詞としてここからは除外してある。

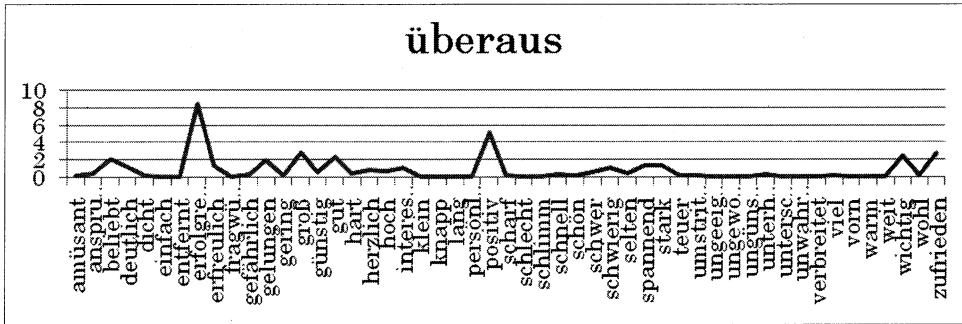
Wer *so* viel investiert, muß auf Teufel komm raus operieren, damit er die Investition verdient. (X 96/SEP. 20388 Oberösterreichische Nachr., 19.09.1996)

Ich reite in Lucklum. Es ist richtig toll dort. Es gefällt mir *so* gut, weil ich Pferde liebe, und das Galoppieren ist so schön weich. (BRZ 10/JAN.11157 Braunsch. Z., 26.01.2010)

Mich wundert es, daß ich gar *so* weit fliege, denn alles paßt noch nicht zusammen. (X 97/FEB.04353 Oberösterreichische Nachr., 08.02.1997)

wir wohnen noch nicht *so* lange in Romanshorn. (A 10/JAN.00244 St. Galler Tagbl., 04.01.2010, S. 33)

Ihre Leidenschaft wird sie *so* schnell nicht aufgeben. (A 10/MAR.09206 St. Galler Tagbl., 27.03.2010, S. 47)

4. 9. *überaus* (出現数 46698)

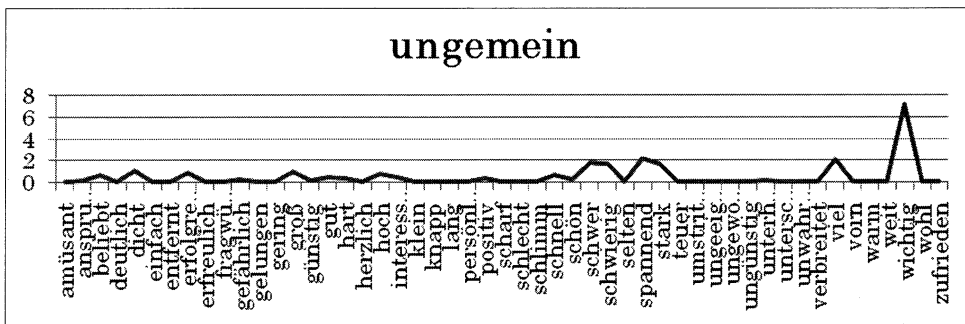
これはかなり特徴的である。まず、トップに来るのが *erfolgreich* で 8 である。その後に続く *positiv*, *groß*, *zufrieden*, *wichtig*, *gut*, *beliebt*, *gelungen*, *stark*, *erfreulich*, *spannend*, *deutlich*, *schwierig*, *interessant*, *aktiv* もかなりユニークである。これらで約 36% を占める。かなり大胆な解釈をすると *positiv*, *groß*, *zufrieden*, *wichtig*, *gut*, *beliebt*, *gelungen*, *stark*, *erfreulich*, *interessant*, *aktiv* などは *positiv* に代表されるようにまさにポジティブな方向性を感じさせる。「下の方向」に程度が高いのではなく、「上の方向」に程度が高いということではなからうか。

Das Projekt war *überaus erfolgreich*. (A 00/JUL.48643 St. Galler Tagblatt, 19.07.2000)

Bei uns wirkt sich der EU-Beitritt *überaus positiv* aus. (X 96/MAI.07108 Oberösterreichische Nachr., 14.05.1996)

Seit nunmehr 53 Jahren feiert sie *überaus große* Erfolge. (BRZ 06/AUG.05705 Braunsch. Z., 12.08.2006)

Sohn Stefan ist *überaus zufrieden* mit dem Geschäft, denn bereits am Morgen hat er einen grossen Teil seines Angebots verkauft. (A 07/SEP.00581 St. Galler Tagbl., 03.09.2007, S. 36)

4. 10. *ungemein* (出現数 12632)

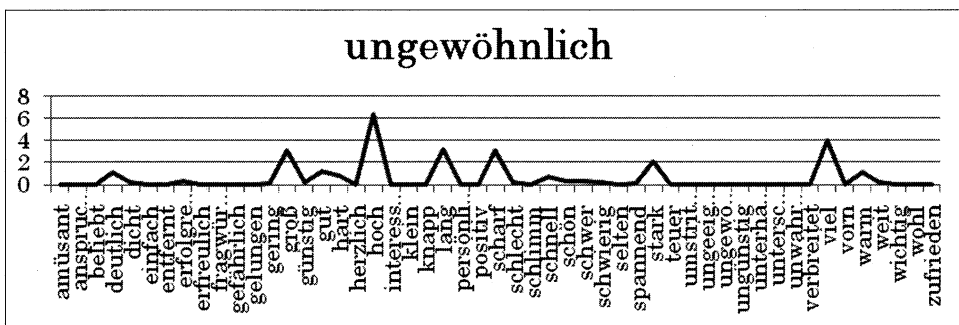
上位に並ぶのは *wichtig*, *spannend*, *viel*, *schwer*, *schwierig*, *stark*, *dicht* である。あえて特徴的なものを取りあげるなら *spannend*, *dicht* であろうが、それほど数値が高いわけではない。 *wichtig* (7.1) を除いてほとんど予測がつかないと言ったほうがよいであろう。ただ、ここには出てこないが、 *gut* (0.5) よりも上に *populär*, *sympathisch*, *farbig* など他では見られないものがある。このあたりに何か隠されているようにも思われる。

Ich tausche mich viel mit einem muslimischen Lehrer aus unserem Krankenhaus aus. Dieser Dialog der Kulturen ist *ungemein wichtig*. (HMP 10/MAR.00772 MOPO, 09.03.2010, S. 11)

Das macht doch Wahlkämpfe so *ungemein spannend* - vor allem dann, wenn der Kandidat das falsche Register zieht. (A 99/MAR.18794 St. Galler Tagblatt, 17.03.1999)

Das *ungemein dichte* Kinodrama erzählt die wahre Geschichte der Prostituierten Aileen Wuornos, die zwischen 1989 und 1991 in Florida sieben Männer erschoss und dafür hingerichtet wurde. (M 06/NOV.89391 Mannh. Morgen, 20.11.2006)

4. 11. ungewöhnlich (出現数 33308)



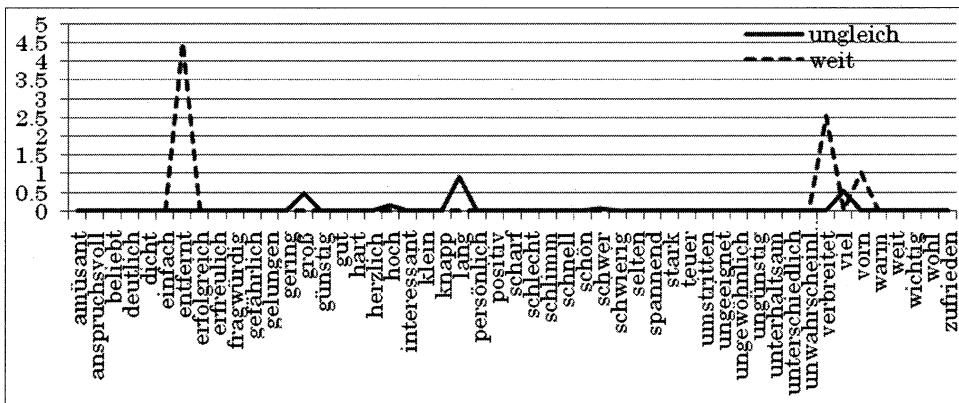
自ら ungewöhnlich と名乗るわりにはわりとふつうの共起語をとる。hoch, viel, lang, scharf, groß, stark, gut, warm, deutlich が 1 以上の数値を示す。考えようによっては程度詞それ自体の意味が強いために一般的な意味の語と共起すると言えるのかもしれない。

Die *ungewöhnlich hohe* Summe erklärt er damit, dass er das Tageslimit wegen einer bevorstehenden Investition erhöht hatte. (HMP 10/APR.02672 MOPO, 29.04.2010, S. 6)

Zu Beginn wurden die *ungewöhnlich vielen* Zuhörer in die Diskussion miteinbezogen-(I 99/NOV.47779 Tiroler Tagesztg., 25.11.1999)

Das dauert *ungewöhnlich lang*. (M 09/OKT.83085 Mannh. Morgen, 21.10.2009, S.5)

4. 12. ungleich (出現数 10555), weit (出現数 471213)



これらは主として比較級と結びつく。ただ、ungleich は lang (0.9) と weit は entfernt (4.5), verbreitet (2.5), vorn (1.0) と結びつくことがあるためにあげておいた。ungleich lang は下のよう
なほとんど決まった言い回しが多い。weit は明らかに水平方向の広がりを示しており、これらと結
びつくときには程度副詞というよりは空間副詞の意味をなお保っていると言うべきであろう。

Da sitzen sich Manager und Angestellte am runden Tisch gegenüber. Doch die Spiesse sind von
vornherein *ungleich lang*. (E 99/AUG.21894 Zürcher Tagesanzeiger, 27.08.1999, S. 1)

Hier werde mit *ungleich langen* Spiessen gefochten. (A 07/NOV.08444 St. Galler Tagbl.,
17.11.2007, S. 1)

Tibet ist *weit entfernt*, und wenn ich mit den Mitarbeitern und Kollegen darüber spreche, dann
ist das für die kein Thema. (BRZ 08/MAR.12965 Braunsch. Z., 26.03.2008)

Hunger ist *weit verbreitet*. (A 10/MAR.04300 St. Galler Tagbl., 13.03.2010, S. 47)

Bulgarien liegt in der Gunst *weit vorne*. (RHZ 04/JUL.23451 RZ, 26.07.2004)

5. まとめ

以上のような結果からはまだ結論じみたことは言えそうにもない。全体としていくつか気づいたこ
とを書きとめ、今後の研究への手がかりとしたい。

(1) 形容詞の側から見てさまざまな程度副詞と結びつくものがある。以下は 1 以上の予測可能性
を持って結びつく程度副詞の種類が 4 種類以上のものである。

結びつく程度副詞の種類	共起語
8	gut
7	stark, viel
6	groß
5	hoch, wichtig, erfolgreich
4	schwer

これらはそれ自体頻度が高いものではある。それは意味的にはかなり広いものであるということでも
あろう。よって、さまざまな種類の程度副詞の修飾を受けうるとも言える。ただ、今回の調査で
印象に残ったのは、erfolgreich がしばしば顔を出すことである。直感的にはこれは上記の他の形容
詞と肩を並べるほど頻度が高いものでもないような気がしていたが、思ったよりも多用されるよう
だ²⁴⁾。

(2) 一方で程度副詞と共起語の結びつきが限られているものもある。たとえば、以下は 1 以上の
予測可能性を持って結びつく程度副詞が 1 種類に限られるものである。

程度副詞	共 起 語
denkbar	einfach, knapp, schlecht, ungeeignet, ungünstig
höchst	amüsant, anspruchsvoll, fragwürdig, gefährlich, persönlich, umstritten, ungewöhnlich, unterhaltsam, unwahrscheinlich
recht	herzlich
sehr	wohl
überaus	beliebt, gelungen
ungewöhnlich	scharf, warm
ungmein	dicht

この中には sehr wohl のように相互に頻度の高いものもあるが、ungewöhnlich のように一般的な共起語と結びつくものと、höchst のように共起語の方がやや特殊に見えるものがある。このあたりの意味の関係を今後探っていく必要がある。

井口（2000:10）にはももとの形容詞が程度副詞になっていく例として次のようなものがあげられている。これらは辞典で形容詞の意味のほかに「ひどく」などの副詞としての意味が記載されているものである。

abscheulich, anständig, arg, bitter, böse, desto, echt, ehrlich, einzig, empfindlich, enorm, entsetzlich, erheblich, ewig, furchtbar, fürchterlich, gemein, gräßlich, grausam, hell, herzlich, hübsch, jämmerlich, kolossal, lächerlich, mächtig, ordentlich, peinlich, reichlich, rein, richtig, riesig, schändlich, scheußlich, schlicht, schön, schrecklich, schwer, selten, stark, sterblich, umso, unerhört, ungeheuer, ungewöhnlich, unglaublich, ungleich, unheimlich, unwesentlich, verdammt, verhältnismäßig, verzweifelt, wahnsinnig, wesentlich, widerlich, wirklich, wunderbar, ...

これらはおそらくはもともと持つ意味が透明化していき、程度副詞となるのだらうと思われる。その過程ではある程度形容詞の意味を保っている場合もあろう。するとそこには必然的に意味の共起性というものを考えなければならなくなる。それが「予測」という観点でなんらかの形でまとめることができるものなのかどうか、さらに研究を進めていきたい。

参考文献

- 石川慎一郎（2008）『英語コーパスと言語教育』大修館書店
 井口 靖（2000）『ドイツ語文法シリーズ5 副詞』大学書林
 今道晴彦（2008）「ドイツ語学習者のためのコロケーション抽出に向けて—統計学的指標の有用性—」（ドイツ文学 138 号 S.250-271）
 Granger, Sylviane（2009）「上級英語学習者のライティングにおける既成パターン：コロケーションと定型表現」（A.P.Cowie（南出康世・石川慎一郎監訳）『慣用連語とコロケーション コーパス・辞書・言語教育への応用』くろしお出版 S.185-204）

註

この研究は科学研究費補助金（課題番号: 21520436）の助成を受けたものである。

- 1) ドイツ語研究所 (Institut für Deutsche Sprache) の Das Deutsche Referenzkorpus (DEREKO) の Archiv der geschriebenen Korpora を用いた。
- 2) 様々な統計指標の特徴については石川 (2008:97 ff.), 今道 (2008) を参照。
- 3) システム上 100 万語を越えると共起分析の際任意に 100 万語が選択される。
- 4) 出現数は Archiv 全体で erfolgreich 245152, hoch 334251, wichtig 311891 である。